

広報たしる

No. 285

昭和52年6月1日

田代町総務課編集



紫

陽

花

(あじさい)

行事予定

18日(土)	16日(木)	15日(水)	14日(火)	13日(月)
茶園管理研修	老人クラブ役員会	養蚕役員会	土地改良区役員会	子豚予防注射
			子牛せり市	未利用地関係育会議
28日(火)	23日(木)	21日(火)	20日(月)	
農業委員会	3才児健診(24日まで)	子牛呼吸器病注射	定例議会招集	金融協議会
			技連会総会	

石油の全消費量と発電用の消費量

(昭和50年度)

	世界全体	日本全体	電気事業全体
消費量	31億3100万kl	2億7800万kl	5010万kl

一年間発電に使う

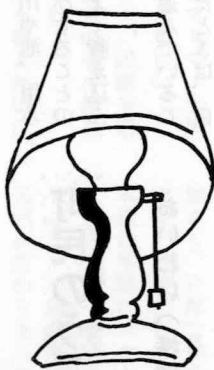
石油の量は

霞が関ビル



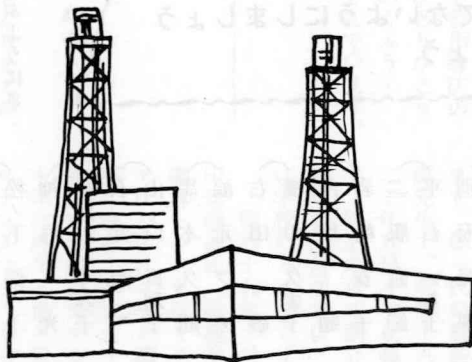
× 97 杯分

〈豆知識〉 60Wの電灯を1時間つけ放しにすると

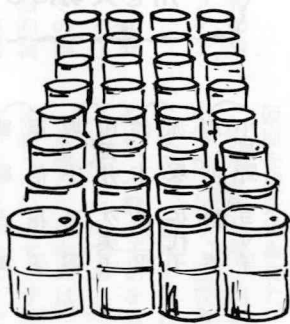


60W × 3千万燈

(日本全体の家庭3千万世帯)



19.8億Wh



石油ドラムかん2277本必要
(ドラムかん1本200ℓ)

自衛官募集

自衛隊鹿屋募集事務所では、昭和53年3月高校卒業予定者で自衛隊へ入隊を希望される方に対して、受付及び試験の時期、要領等について説明を巡回実施しておりますので、説明を聞きたい希望のある方は左記へ御連絡下さい。

・連絡場所

・田代町役場 総務課

・自衛官募集事務所

(鹿屋市新生町20-2)

新生ビル内

TEL 214386

鹿屋・垂水・肝属地区自衛隊父兄会発足

会長は、鹿屋の父兄会長
副会長は、垂水・大根占
の父兄会長です。

電氣をつくる中心は火力発電所ですが、その燃料は石油が大部分です。左の表のように、昭和50年度に発電に使った石油は五〇一〇万klですが、これは日本の国全体が使った二億七八〇〇万klの約20%にあたります。これは東京の霞が関ビルをマスにしてはかると約97はい分にあたります。

みんなで考えよう

かぎりあるエネルギー資源

一番茶の生産順調

昭和51年度が一番茶は、異状晩霜害を受けましたが、52年度も3月中旬〜4月上旬の低温でも霜害かと心配され、農家は霜害防止として夜明けに茶園に火をたき、被害防止に努めました。幸にして、今年は霜害はなく、平年作として順調な生産がなされました。

実績は下表のとおりです。

51年度と52年度との比較を見ると、この両年は非常に対象的な年だと思われま。

前年度は、田代において最大



年度	生産量	生産金額	販売量	販売金額	単価	備考
S 51年	K 51,958	千円 89,239	K 38,668	千円 66,847	円 1,728	単価は本茶
S 52年	72,034	151,135	61,437	128,981	2,099	入り茶の総体
比較	20,076	61,896	22,769	62,134	371	平均

の霜害の年であり、本年度は、まれに見る霜害のなかった年でした。この2年間を数字だけで見ると、生産量において30%増金額においては50%の増で、いかに茶に対する霜の害の影響が大きいかわかります。

田代町の茶作りは、この霜害防止対策が最も必要な点となってきました。今更に、霜防止にどのように対応すべきかを考えなければならぬ。

しかし、今のところ的確な防止方法がなく、農家は経営団体農政上からも、今一歩工夫をしなければなりません。

現在、田代の茶業は、面積一七ha、栽培農家戸数一四二戸茶業加工場八となっているが、この霜害防止によって年間二億の生産が見込まれます。

桑園間作の野菜栽培



表木部落の尾ノ後章さんは、四月初めに桑園の空間を利用してカンラン、ホーレン草、白菜の栽培を行い、五月中旬から市場出荷を始め、現金収入の道を自ら開拓しています。

心がけ一つで収入の道が開けるとい一つの見本です。

共通学力検査の実現を目指して

大学入試改善のためには、国公立大学を通じて共通学力検査の実現が課題となっていますが、文部省ではその第一段階として国立大学協会が多年調査研究を行ってきた国立大学共通第一次学力試験の構想を昭和五十四年度入試者選抜から実施すべく、大学入試センターの設置、八万人を対象とした試行テストの実施などの具体的準備を進めることとしています。

大学入試の現状については、学力検査中心で、しかも多数の

国立大学の新しい入学者選抜の仕組みは、このような状況を改善するため、国立大学が共同して、志願者の高校における一般的な学習の達成の程度を評価するために実施する共通第一次学力試験と、各大学が学部などの特性に応じて志願者の能力適性などを評価するために行う第二次試験と高校からの調査書などを合理的に総合して、最終的に可否の判定を行おうとするものです。

この方式により、高校の教育課程に沿った適切な出題が行われるとともに、志願者の能力、適性などが多角的かつ綿密に評価され、一層適切な選抜が行われることが期待されています。

なお、この国立大学共通第一次試験には、公立大学協会からも参加の要請があり、公立大学も同時に実施できるように具体的な検討が進められています。

教育だより

新校舎で新学年度のスタート

大原中学校

三方を新緑の茶園にかこまれひとさわその白さがはえる新校舎で新学年度をむかえて、大原中学校では、本校区の特徴である開拓精神をむねとし、心身ともに健康で、自ら求めてやまな探究心を培い、どこまでもやりぬこうとする実践力のある清潔で人間性豊かな生徒の育成をめざして、気分を新たに、がんばっています。

特に本年度の努力点のうち重点的なものを取りあげると、次のような点です。

- (1)道徳教育、生徒指導の充実
「徳性のかん養」では、道徳教育の全体計画と教育相談、生徒会活動の充実、人間尊重の教育
- (2)学力水準の向上——つ学んで二つ知る力と努力——では、指導計画、教材の重点化、指導法の改善、自主的学習態度の育成、教育機器の活用

前号で、センダンの木のことを書きましたが、その後、原ノ後亀助さんにお聞きしたところ、学校の本で一番古いのは、体育館の前にある「えのき」ではなからうかとの事です。亀助さんが、入学した時にはすでに直径が二十センチ位あったので、恐らく九十年以上は経っていると思われまふ。

- (3)体位、体力の向上と保健安全指導の徹底——たくましく柔軟性に富む体——では、実態に基づく指導の徹底、生徒保健委員会、学校保健委員会の推進、徒歩通学の奨励
- (4)学校管理の適正と職員研修の

歴史と伝統の田代小学校

その2

さて、沿革史にもどりますが、本村に教育がおこなわれたのは、明治二年で、鹿兒島から山下常蔵という人をつれてきて、士族子弟の修学を始めたらしい。当時、校舎はなく、民家を借りての教育は、従来の寺小屋教育法その儘であった。小学校らしい形を整えたのは、明治六年で、変則小学校を設け

て第七十二郷校と称し、旧地頭飯屋を校舎にあてた。明治九年七月、始めて正則法の学校となり、旧校舎をそのまま使って、勝尾小学校と名前を改め、一般の子弟を教育することになったのである。本校百年の歩みは、明治六年に始っています。すなはち、本校の創立は明治六年で、以来百有余年の歴史をたどってきています。第一代の校長は、川元義直先生で、明治十九年十月から二十三年九月まで在職されています。明治六年の創立から明治十九年の九月までは、校長のいない学校だったのです。

「明治十九年十月小根占ノ人川元義直氏(師範学校卒業生)訓導トシテ来任セラレタリ而シテ氏ハ少壮ニシテ頗ル元氣アリ夙ニ校舎ノ不完全ヲ稱ヘ拮据經營之レカ設計ヲナシ遂ニ明治二十年六月今ノ地ニ新校舎ヲ建築セラレタリ実ニ本村ニ於ケル一大事業ニシテ且又一ノ美觀ナリシナリ……」田代小の現在地に始めて、立派な校舎ができたのです。当時としては、モダンな木造の平屋だったと想像されます。そして、教育令の改正にもない、「田代尋常小学校」と名前が変わりました。(続)



災害の季節がやってきた
大雨の災害を防ぎましょう

毎年、本県は大雨のため大きな災害をうけています。特に昨年はひどく、50年全体の災害額が二五八億なのに対し、昨年は台風17号だけで二六一億の被害をうけ総計で六九〇億にも達しています。

ことしもまた大雨のシーズンがやってきました。そこで次のことに十分注意して下さい。

▽事前の準備

- 1.下水こうをさらえて、水の流れをよくする。
- 2.田・畑・道路災害のもとになる用水の取入口や排水口の扉の操作は自由にできるか点検、修理しておく。
- 3.用水路の上にかぶさっている草木や、くずれかかっているところは補修しておく。
- 4.停電や断水に備え照明具や飲料水の準備をしておく。

▽崖下に住宅のあるところ

1日頃から崖に注意して変

たこと(例えば、地割れ、がけ附近のわき水の濁りなど)がないか気をつけましょう。

2.崖崩れが起ったときのことを考えて、避難する場所を決めておきましょう。

3.崖崩れは、雨が降り続いて地盤がゆるみ、雨あがりの二、三日あとに起ることも多いので注意しましょう。

4.雨降りの夜などは、寝るとき崖に面した部屋はさけ、また、頭の向きを崖と反対側にするなど、ちよつとした注意で命が助かった例がありますから、日頃から心がけておきましょう。

▽子どもを水の事故から守ろう

こどもの水の事故は、そのほとんどが、ちよつとした油断や不注意によるもので、それが取り返しのつかない事故につながっています。1.幼児の一人あそびをさせないよう、常にこどもから目

を離さない。
2.幼児には、河川や池、用水堀などで水遊びすることの危険なことをよく教え込んで下さい。
3.危険な水辺で遊んでいる子どもを見かけたときは、自分のこどもでなくても危険な川と進んで声をかけ安全な場所まで導くようにさせる。

河川愛護月刊

5月21日～6月20日

川にちりやゴミを捨てないようにしましょう
川を大切にしましょう

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

人口のうごき

	52.5.1	
世帯数	1,467	戸
男	2,172	人
女	2,490	人
計	4,667	人
	推計人口	

「大原開拓物語」
近く発刊

大原校区は、大部分の部落が明治の後半から昭和の戦後にかけて、他の町村から移住してきた人々によって形成されているのです。これは、他の校区にはみられない珍しいことです。しかも古くから大原に住んでいた人々が、他町村から移住してきた人達を暖かく迎えて、お互いに助け合いながら、現在の大原を築きあげてきました。

この開拓の精神を今の若い人々に伝えていくことは大事なことで、昨年の夏から準備してきましたが、先日やっと原稿がまとまり、「大原開拓物語」がたり」として、近く発刊されることになりました。

田代町郷土史第六集として、町からも多大のご援助を頂いたもので、今までの郷土史とは少し趣を変えて、部落の長老の方々の思い出話を中心にまとめたものです。ご期待下さい。

子どもリーダー 合同研修会

子ども会活動を活発にするため、五月十五日(日)田代小学校体育館において、出会者は二七人(子ども会役員一五九人、子ども会指導者六八名)合同研修会がおこなわれました。

町内でも、日常活動のすばらしい、鶴岡子ども会と鶴岡野子ども会の活動発表がなされ、活発な意見もだされました。子ども会安全会の記入のしかたや子ども会活動の計画のたて方など(子ども会活動を活発にするため)の学習。

レクリエーションのすすめ方については、吾平町社会教育主



自主民踊教室の開講

事の坂中春久先生の実技をとおしての指導があつて、みんな楽しく学習をしました。

子ども会の指導者である、おとうさん、おかあさんも、レクリエーション指導をうける熱心な姿は、とてもすばらしいでした。

研修会に出会した子ども会リーダー・指導者のみなさんの努力で、田代町子ども会が、さらに活発に活動することでしょう。

着実な活動をしている

鶴岡野子ども会

小学生十三名、中学生四名の小じんまりした部落ですが、よくまとまって、しっかりした歩みをしている子ども会の一つです。その活動ぶりが、去る五月十五日田代小で行われた町教委主催の「子ども会リーダー、指導者合同研修会」の席上でも、鶴岡部落とともに、発表されましたが、ここにその一部を紹介します。

。親子会―毎月一回第一土曜の夜開かれ、ちかひのことは、月の努力点、反省、よい行い

。親子会―毎月一回第一土曜の夜開かれ、ちかひのことは、月の努力点、反省、よい行い

昨年、町民講座として、民踊教室を開講し、入級した学級生が、民踊を十回学びました。みんな大変じょうずになりました。みんな大変じょうずになりました。

。さらに学習をすすめ、民踊のよさを多くの人に知ってもらうために、自主民踊教室を開講しようという計画をたて、町内の方々に呼びかけ、学級生として入級の希望者も多く、去る五月二十八日(土)午後八時より、田代小学校体育館にて、講師として北タキ先生、学級生八十名の出会で開講式がお

こなわれ、学習題名は「西郷どん」で、熱心な学習ぶりでした。

民踊教室の期日は、
5月28日(土) 6月25日(土)
7月30日(土) 8月27日(土)
9月24日(土) 10月29日(土)
11月26日(土) 12月17日(土)
1月23日(土) 2月25日(土)
3月25日(土) 学習時間は、午後八時より九時半まで。
自主民踊教室の世話係は、
学級長 大竹野ミエ
副学級長 水瀧つゆ子
副学級長 浜田ナリ
会計 山下 絹子

郡民体育大会 近づく

第十五回肝属郡民体育大会が今年は、お隣りの大根占町で開催されます。

7月10日(土)
。大根占町運動公園 13時より
野球、ソフトボール南部予選
7月24日(日)
。大根占町運動公園 10時より
バレーボール、陸上
。大根占町福祉センター
一般剣道、少年剣道
。大根占中学校
庭球(男女) 卓球(男女)
。大根占小学校
柔道

田代町としても、毎年多数の選手が競技に参加しております。町体育協会の各専門部では、選手の選考と練習にはげんでいますので、大会でよい成績が得られるよう、町民のみなさんの応援を よろしく願います。

田代町で郡民体育大会が開催されるのは、昭和54年度となっていますので、みなさんのご理解とご協力を。

落の方々の努力で新築された公民館のおかげだとも子どもたちはいっていました。